

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会福祉振興助成費補助金		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	福祉基盤課		定塚 由美子		
会計区分	一般会計		施策名	IV-9-1 福祉サービスを支える人材養成、利用者保護等の基盤整備を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人福祉医療機構法 第12条第1項第7号		関係する計画、通知等	独立行政法人福祉医療機構中期計画(H20. 2. 29)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	政策動向や国民ニーズを踏まえ、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動等に対し助成を行い、高齢者・障害者が自立した生活を送れるよう、また、子どもたちが健やかに安心して成長できるよう必要な支援等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会福祉法人、NPO法人などが行う以下の事業に対し助成を行うものである。 ①福祉活動支援事業(個々の団体が実施する社会福祉の振興に資する創意工夫ある事業) ②社会参加促進活動支援事業(個々の団体が実施する高齢者等の日常生活の便宜や社会参加を促進する事業) ③地域連携活動支援事業(複数の団体が連携を図り、社会福祉諸制度の対象外のニーズ等に対応する事業) ④全国的・広域的ネットワーク活動支援事業(広域的な普及等を図るため、複数の団体が相互にノウハウを共有し、社会福祉の振興に資する創意工夫ある事業)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				3,047	2,081	3,865
		補正予算						
		繰越し等						
		計			3,047	2,081	3,865	
		執行額			3,047			
	執行率(%)			100.00%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	助成事業の利用者満足度(70%以上) 達成度=成果実績/70%	成果実績	%	-	-	95.3	70	
		達成度	%	-	-	136.1		
	特定非営利活動法人等への助成(80%以上) 達成度=成果実績/80%	成果実績	%	-	-	82.0	80	
達成度		%	-	-	102.5			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	助成事業の交付決定(件数)		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	1,031 (930)	551 (635)
単位当たりコスト	平成22年度実績 2,955,383円(1件当たり)		算出根拠	交付決定金額(3,047百万円) / 交付決定件数(1,031件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	社会福祉振興助成費補助金	2,081	3,865	東日本大震災復興関連事業(1991百万円)事業を効率化したことによる減額(▲208百万円)				
	計	2,081	3,865					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉振興助成費補助金交付要綱に基づき、翌年度に提出される事業実績報告により確認している。 ・毎事業年度、事業実績・財務諸表の報告により実施状況を把握するとともに、厚生労働省独立行政法人評価委員会等による評価を実施している。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本経費については、経費の内容を精査し、必要性の見直し、優先順位を付けるなどにより効率化を図ること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>・事業の効率化により予算額の減額(▲208百万円)を行った。 (東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費を約20億円要求しているため全体としては増額)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省



【補助】

A.(独)福祉医療機構
3,047百万円

〔 社会福祉振興助成金の交付 〕



B. 民間福祉活動団
体

〔 社会福祉振興助成金の受領 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
社会福祉振興助成金	民間福祉活動団体への助成金	3,047			
計		3,047	計		0
B.日本障害者スポーツ協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
社会福祉振興助成金	アジアパラ他障害者スポーツ世界大会選手派遣事業費	89			
計		89	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)福祉医療機構	民間福祉活動団体への助成	3,047	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本障害者スポーツ協会	平成22年度障害者競技スポーツ強化事業	89	-	-
2	全国社会福祉協議会	「全国ボランティアフェスティバルひろしま」開催事業	35	-	-
3	日本障害者スポーツ協会	障害者スポーツ特別振興事業	34	-	-
4	麻薬・覚せい剤乱用防止センター	大学生等青少年薬物乱用防止対策強化事業	33	-	-
5	日本障害者スポーツ協会	平成22年度ジャパンパラリンピック開催事業	32	-	-
6	全国盲ろう者協会	盲ろう者地域団体の連携組織構築事業	26	-	-
7	地域ケア政策ネットワーク	認知症を支える地域づくり支援(キャラバン・メイト養成研修)事業	23	-	-
8	日本介護福祉士養成施設協会	専門介護福祉士の認定制度に関する研究事業	22	-	-
9	東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター	認知症高齢者介護家族への個別相談対応のための研修システム構築事業	21	-	-
10	長寿社会開発センター	全国健康福祉祭いしかわ大会文化交流事業	21	-	-